

平成27年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ① 引き続き担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっており、地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために、子育て支援ネットワークや年代によりターゲットを変えた講座を引き続き開催します。また地域の会合に出席し、顔の見える関係づくりからも担い手が参加しやすい関係を目指します。このような活動から地域の福祉保健活動や地域ケアプラザの設置目的、機能等を啓発・啓蒙します。
- ② 課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、所内(地域活動交流と地域包括支援センター)で連携して積極的に支援や声掛けなどをして、一緒に地域の福祉保健活動を推進できるよう周知・広報します。
- ③ 地域住民からケアプラザに行くには、坂を上り下りしなければならないため、ケアプラザには行きにくいとの声があります。こちらから積極的に出向いて講座を開催したり、地域の行事にも参加します。またケアプラザをまだ知らない、利用したことのない住民に対してもケアプラザを広く周知します。
- ④ ケアプラザ周辺に新しいマンションが次々と建設され、新しい住民が増えています。新しい住民へのケアプラザの周知も含め、今年度は若い世代のご夫婦の第1子出産が多く見られるため、0歳児親子への支援に力を入れます。
- ⑤ 地域ケア会議を通じて、地区の課題を区、社協、地域と共に検討します。
- ⑥ 地域の見守り等の担い手である民生・児童委員とケアマネジャーの交流会を開催します。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ① 指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理します。
- ② 常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者にお願いし、定期的に行います。
- ③ 月1回の委託業者による定期清掃の他、職員も日常清掃・整理整頓に心掛け、備品管理、警備そしてヨコハマ3R夢プランの推進を目指します。
- ④ 施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生及び外観を整備します。
- ⑤ 施設衛生上においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、11月1日から3月末まで毎日全館の手すりやドアノブなどの消毒に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- ① 常に節水、節電や資源の有効活用に心掛け、資源の日常的な無理・無駄・ムラを省く努力を職員一同継続します。
- ② 事務処理に関して法人本部と連携して効率的に取り組むようにしていきます。また、インターネット上で価格を常に確認しながら、安価なものを比較、検討して購入します。委託業者も定期的に見直します。

ウ 苦情受付体制について

- ① 法人では、公正・中立の立場から第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備しています。
- ② 「苦情相談対応マニュアル」から苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整え、その情報を職員間で早急に共有して改善に努めます。
- ③ 職員が相談者に適切に対応できるよう、研修等に参加し、窓口(苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受け付けなど)だけではなく、日頃から意見を言いやすい環境関係づくりを目指します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、適宜見直しを行い職員に周知・共有化を図ります。
- ② 災害時特別避難場所としての役割を再度見直し、区役所との連携を深めます。災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めます。
- ③ 年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には必ず消火器の使用方法を確認します。今年度も津波等災害時に備えて、防災委員会を定期的開催します。
- ④ 緊急連絡網を適宜更新します。
- ⑤ AEDの設置に伴い、備品の使用期限など日頃からチェックを行い、整備します。
- ⑥ 夜間はセキュリティシステムが稼働しています。

オ 事故防止への取組について

- ① 「事故防止マニュアル」を適宜見直し、職員に周知し、共有化を図ります。
- ② 業務中にヒヤリとしたことやハッとすることがある場合、今後も事故につながる可能性が高いため、その日に職員ミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故に未然防止に取り組めます。
- ③ 職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心掛けます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」を全職員で実施、復習をして、常に緊張感をもって対応します。
- ② 個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理します。
- ③ 不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄します。
- ④ 事業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、ファックスの送信の場合は2名体制で指さし、ダブルチェックを徹底をします。2回入力で送信します。
- ⑤ 携帯電話は首から紐で掛けるようにし、使用時は暗証番号の入力を必要とし、普段はロックがかかっています。

キ 情報公開への取組について

- ① 本会のホームページや広報誌において、事業内容や決算報告等を公表しています。またホームページでも各事業の情報を随時更新して広報していきます。
- ② 神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供しています。必要に応じて更新します。各事業に関しては広報誌で、町内会への回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知するようにします。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ① 横浜市の取り組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの取り組みを推進します。
- ② ヨコハマ3R夢プランに基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いします。
- ③ 個人情報が含まれていないかを確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用する意識を高めます。
- ④ 随時、ゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識を高めます。
- ⑤ 節水や節電に積極的に心掛けます。
- ⑥ 施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て花壇の維持管理を行います。
- ⑦ 「宮崎まつり」には、資源循環局の職員にもほぼ毎年参加していただき、来場者にゴミの分別などを楽しみながら理解して頂けるようにしています。また、おまつりで出るゴミもそれぞれに分別し、来場者に分別をお願いしています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

3 職種（看護師 1 名・主任ケアマネジャー 1 名・社会福祉士 1 名）で介護予防支援業務に従事します。

《目標》

達成目標と支援方法を明らかにし、利用者本人とそのご家族、関係機関全員が統一した計画のもとで、自立に向けた支援を行います。

《実費負担》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場、細やかな対応を心がけます。区役所をはじめ、関係機関との連携体制を整えます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
114	119	113	114	113	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	112	109	107	109	111

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員… 2名（常勤専従）

《目標》

- ・ 要介護者やその家族が必要なサービスを適切に利用できるようなケアマネジメントを行います。又、インフォーマルサービスと連携する事で、質の高いケアマネジメントを目指します。
- ・ 困難事例やターミナルケース等、緊急性の高いケースを積極的に受け入れていきます。

《実費負担》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各ケアマネジャーの支援状況を報告・共有することで、困難事例への円滑なケアマネジメントをできるよう毎週ミーティングを行っております。
随時、包括支援センターとも連携しております。
- ・ 各種講習会・研修に参加する事で、H27年度報酬改定へ向けた準備や専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 区内の主任ケアマネジャーが主催する勉強会に参加し、専門職としてのスキルアップを図っております。
- ・ 専門性を高める為、5年以上経験のあるケアマネジャーは主任ケアマネジャー研修に参加します。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
84	87	90	93	96	99
10月	11月	12月	1月	2月	3月
102	105	105	105	105	105

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 日常機能訓練（日常生活動作）
- レクリエーション
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- 送迎 給食 入浴

《実費負担》

- 1割負担分

（要介護1）	733 円		
（要介護2）	862 円	（要介護3）	995 円
（要介護4）	1,129 円	（要介護5）	1,262 円
- 食費負担 700 円（おやつ代含む）
- 入浴負担 53 円
- サービス提供体制強化加算Ⅰ 13 円
- 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位10.54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9：00～16：00、9：30～16：30

《職員体制》

- | | | |
|---------|-----|------------------|
| 管理者 | 1名 | （常勤兼務1名） |
| 生活相談員 | 4名 | （常勤兼務4名） |
| 看護職員 | 3名 | （非常勤兼務2名、派遣1名） |
| 介護職員 | 12名 | （常勤兼務5名、非常勤7名） |
| 機能訓練指導員 | 3名 | （常勤兼務1名、非常勤兼務2名） |
| 運転業務職員 | 4名 | （非常勤4名） |

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供します。
信頼と信用を築き、丁寧に妥協せず取り組んで参ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきます。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行います。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れます。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行います。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図ります。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげます。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めます。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し利用者様へ報告致します。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また、好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきます。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けます。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしていきます。
- ⑫ 新規募集に対して、近隣の掲示板上に体験・見学のポスターを掲示します。

≪利用者目標（延べ人数）≫

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
690	713	690	713	713	690
10月	11月	12月	1月	2月	3月
713	690	644	644	644	713

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助）
- サービス計画に基づいた機能訓練
- 送迎・入浴
- レクリエーション
- 給食

《実費負担》

● 1割負担分

（要支援1） 2, 230円（月額）

（要支援2） 4, 465円（月額）

● 運動器機能向上加算 238円（月額）

● サービス提供体制強化加算Ⅰ

（要支援1） 51円（月額）

（要支援2） 102円（月額）

● 食費負担 700円（おやつ代含む一食につき）

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位10,54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:30 ~ 16:00

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきます。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行います。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れます。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行います。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図ります。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげます。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めます。
- ⑧ 調査結果を掲示板に貼付し利用者様へ報告致します。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきます。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けていきます。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしていきます。
- ⑫ 新規募集に対して、近隣の掲示板に体験・見学のポスターを掲示します。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	105	110	115	120	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	110	105	105	105	115

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ① 職員体制は、今年度も、土日祝日を含めて毎日1名以上出勤し、相談に迅速に対応できるようにします。
- ② 民生委員児童委員との学習交流会や地域の食事会に積極的に参加したり、地域交流との連携により、地域住民の細かな相談に気付き、対応できるようにしたりします。
- ③ 高齢者だけでなく、こどもや障がい分野の相談窓口としても機能することを周知します。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ① 月1回の会議で、情報の共有・連携等を行い、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋がりました。地域情報についても、施設内での共有に努めます。
- ② 共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきます。
- ③ 地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めます。
- ④ 個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきます。

3 職員体制・育成

- ① 各事業の資格要件及び職員配置基準を満たした配置をします。
- ② 各職員の資質向上を目指し、積極的に研修に参加する機会を設けます。その他に法人研修内では、今年度もリーダー職を対象にケアマネジメント力向上研修を予定しています。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ① 今年度も引き続き認知症の方と家族を見守る多職種ミーティングを年4回、4包括1回ずつ開催していきます。認知症事例を通じて医師、行政、ケアマネ、民生委員等が一同に介し地域の課題、ネットワーク構築を話し合う場(地域ケア会議)としていきます。
- ② 今年度も担当地区民生児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施します。
- ③ 地区社協活動等の地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続します。
- ④ 地域が福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組が行われています。その活動を支援するため関係機関(小学校・警察署・警察OB会・交通安全協会など)と連携・協力し地域へ情報発信、交換、共有を行います。
- ⑤ ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動を紹介する場や機会を設けます。
- ⑥ 地域の子育て支援団体・支援者とそれぞれの顔の見える関係づくりを行います。

5 区行政との協働

- ① にこまちプランを区行政、社協とともにケアプラザができることを協働で推進していきます
- ② 日頃からお互いの情報を共有し、各々の役割を担い、連携に努めます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社会福祉協議会・連合町内会・地区民生児童委員協議会・地域のサロンや昼食会、配食サービス等など）の担い手(正副会長)の変更が多く見られるため全体の見直しを行い、新しい情報提供をします。
- ② 広報紙「みやざき」ではケアプラザやインフォーマルサービスの情報発信、まもり隊の活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」発行し、町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行います。
- ③ ホームページを定期的に更新します。
- ④ 貸室利用団体やボランティア登録者に定期的に、福祉保健活動情報紙で情報を提供します。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ① 地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR 広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示、地域のイベントや活動の場などで)活動をします。
- ② 空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内に掲示しお知らせします。

3 自主企画事業

- ① 認知症・介護の予防・現状維持・現状改善を目指した学習療法サロンの継続します。体操や料理、歌などを取り入れ毎週定期的に開催し、軽い認知症の方の改善や進行を抑えた活動を目指します。
- ② 上記事業開催に伴う、高齢者支援ボランティアを育成、活動に力を入れます。
- ③ 高齢者男性の参加の場(居場所作り)を考えた事業を継続開催します。
- ④ 第1子出産家庭が増加し、今年度は0歳児親子支援に力を入れます。
- ⑤ 新しい住民が増え、地域住民交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れます。
- ⑥ 学童期の子どもを育てる世代へ、子どもを通じた活動から地域ケアプラ、地域福祉の周知を行います。
- ⑦ 地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を開催します。
- ⑧ 自主化した団体への支援(共催事業や地域などでの活動の場)を継続して行います。
- ⑨ 65歳未満や、介護保険サービスなどの利用対象外の地域住民に、状況に応じて既存の講座で受入れを引続き行い、それに伴うボランティアの育成を行います。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ① 各自主事業に合ったボランティアの育成を行います。またボランティア講座を受けた方と自主化した団体へ活動支援を引き続き行い活動に繋げていきます。
- ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い、実活動へ繋がります。
- ③ ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示し、活動へ繋がります。
- ④ サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして引続き育成します。
- ⑤ 西区社会福祉協議会、区内のケアプラザと連携しボランティアの育成に努めます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ① 土日祝日を含めて職員が出勤することで就労中の地域住民でも早めに相談できる体制を継続します。
- ② 独居の方や高齢者世帯が増加している為、自ら相談することが困難な方がいると推測されます。その為、地域活動に積極的に参加し、顔の見える関係作りに努めます。
- ③ 高齢者の相談に応じるだけでなく、家族支援にも視点をおき、総合的に支援できるよう、関係機関との連携を図ります。

地域包括支援ネットワークの構築

- ① 月1回の会議で、情報の共有・連携等を行いますが、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋がります。地域情報についても、施設内での共有に努めます。
- ② 共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきます。
- ③ 地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めます。
- ④ 個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきます。

実態把握

- ① 相談票から、どのような相談が多いのかについて資料としてまとめ把握することで、今後の事業に反映させていきます。
- ② 個別相談だけでなく、地域の食事会などに出向いた時に、地域の声を拾い、記録します。
- ③ 1度の相談で終了せず、とくに代行申請した場合には、その後の当事者の状況を確認して、生活課題の早期発見につなげます。

2 権利擁護

権利擁護

- ① 4包括と区役所、社会福祉協議会共催で、権利擁護啓発事業を行います（下半期に3回連続講座）。また、ケアプラザ単独でも1回の講座を企画・実施します。
- ② 成年後見制度の相談件数が伸び悩んでいます。周知活動と併せて、個別相談の中で具体的に制度利用について提案していきます。

高齢者虐待

- ① 虐待やその疑いがあるケースについては、速やかに虐待相談受付票を区役所に提出し、対応します。具体的な対応時には、区と役割分担し、被虐待者（またはその疑い）だけでなく、虐待者（またはその疑い）への支援を行います。
- ② 虐待の早期発見の為、虐待種別について周知します。具体的には、認知症サポーター養成講座の中で、虐待種別や虐待予防の取組みなどを説明し、認知症と虐待が密接な関係にあることを伝えたり、地域の食事会やケアプラザの事業の中で伝えたりします。また、訪問介護事業所連絡会「にしっこ会」にて虐待についての講座を行い、介護に携わる職員が早期発見できるよう支援します。
- ③ 介護疲れから虐待につながらないように、介護者のつどいを企画・実施します。

認知症

- ① 高齢者支援ボランティア講座の「認知症の方や家族の方へのサポートを知る」の中で「認知症サポーター養成講座」を開催します。
- ② 包括主催で「認知症サポーター養成講座」を宮崎地域ケアプラザで推薦したキャラバンメイト2名を講師として開催し、地域住民に認知症の理解や、地域での支え合いの重要性を伝えていきます。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ① 定期事業・総合相談・出前講座・お祭りなどを通じて、基本チェックリストを目標100名とし、日常生活の振り返りとしての活用や二次予防事業へとつなげていきます。
- ② 口腔機能低下の該当者に対し、2月に健口づくり口腔指導フォローアップコース（基礎編・応用編）を2回開催します。

介護予防ケアマネジメント力

- ① 定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を通して要介護状態にならないよう働きかけを行い、介護予防の必要性を講座の中で周知していきます。また区や各包括で行う介護予防の講演会や講座を周知し参加へとつなげていきます。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 地域で行われている高齢者食事会やお茶会、お祭りなど地域に出向く機会を通じて連携の推進や地域ニーズの把握を行っていきます。
- ② 日頃、地域の個別ケースに熱心に取り組まれる地域の開業医や近隣ケアマネと地域活動に熱心な担当地域の民生委員や行政のかたとの交流の場を今年度も推進支援していきます。年1回以上の交流会を実施します。
- ③ 今年度も担当地区の民生児童委員協議会と学習交流会を行い、相互交流を深めます。学習内容によっては地域のケアマネジャーにも参加を依頼します。

医療・介護の連携推進支援

- ① 引き続きケアプラザ近隣の医療機関や介護保険サービス事業所を訪問して、顔の見える関係づくりをしていきます。
- ② 引き続き1人暮らしや要介護認定を受けていても介護保険サービスの利用のない方の支援について、区役所との月1回の定例カンファ等で情報を共有して継続的に支援していきます。
- ③ 西区は横浜市の在宅医療連携拠点のモデル地域として選ばれています。その中核拠点である西区医師会や西区ケアマネ研究会、昨年発足した西区ヘルパー事業所研究会「にしっこ」会との連携推進をさらに深めていきます。交流会を年1回以上開催します。

ケアマネジャー支援

- ① 引き続き、西区4包括主任ケアマネ共催のケアマネサロン(20名規模)を年7回計画しています。そのうちの1回は区役所との共催で50人規模で実施します。内容は、東京工芸大学教授大島先生による「福祉に活かすプレゼンテーション技術」を学びます。多職種連携のためのコミュニケーションスキルを身につけることを目的としています。
- ② 日頃から近隣のケアマネジャーが相談しやすい雰囲気づくりを心がけて、ケアマネジャーが抱え込まずに、また孤立しないように支援に努めていきます。
- ③ 特に一人ケアマネ事業所のケアマネジャーへの声掛けをおこない、相互交流及び学びと気づきの場づくりに努めていきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

西区4包括と製薬会社との共催で病院、開業医(医療)、居宅(ケアマネ)、介護事業所、地域住民と協働して西区内で若年性認知症に苦しむ本人とその家族を支援するネットワークづくりをしていきます。

介護予防事業

介護予防事業

- ① 定期事業の玄米ダンベル・ニギニギ体操を月2回開催し運動機能の低下に努めます。
- ② 遠方受講者のために霞ヶ丘丘友会館で元気なうちから介護予防ウォーキング講座を7月～12月の月1回開催します。
- ③ 口腔機能低下の該当者に対して、2月に健口づくり口腔指導フォローアップコース(基礎編・応用編)を2回開催します。
- ④ 学習療法を取入れた「大人の学校」にて、認知症・介護予防、現状維持・現状改善を目指します。

その他

平成27年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名: 横浜市宮崎地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料等収入	19,081	23,630	149				
	介護保険収入				4,685	19,945	70,924	5,970
	その他							
	利用者負担金	2,000					5,899	600
	職員給食費等	50	150			250	700	
	利用者給食費等						5,324	
	委託費(認定調査)					1,316		
収入合計(A)	21,131	23,780	149	4,685	21,511	82,847	6,570	
支出	人件費	11,981	18,866			20,103	52,235	
	事務費	1,569	687			492	1,265	
	事業費	941	1,656	149	3,207	4	14,785	
	管理費	5,792	1,539			49	8,500	
	その他							
	施設使用料相当額						3,990	
	指定額等	798	882					
支出合計(B)	21,081	23,630	149	3,207	20,648	80,775		
収支 (A) - (B)	50	150		1,478	863	2,072	6,570	

平成27年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居 75歳以上の高齢者世帯 40名 500円他実費	298,130	22,380	275,750	2,227	289,183	6,720
子育て 親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子 なし 原則なし	34,276	23,476	10,800	13,267	14,289	6,720
子育て ぽっ・ぽっ・ぽっWith みやざきキッズ	未就園親子 なし なし	40,879	40,879	0	30,065	4,094	6,720
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ 登録15名 原則なし	24,306	24,306	0	9,926	7,660	6,720
子育て パパあのおね! 毎月土曜日	1歳～未就園父子 登録15名 原則なし	18,400	18,400	0	0	11,680	6,720
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも 40名 500円	227,123	4,877	232,000	183,743	43,380	0
地域 おりがみクラブ 毎月第3火曜日	地域住民誰でも 10名 1回100円	42,319	22,119	20,200	42,319	0	0
地域 Boy'sキッチンワーカーズ 毎月第2月曜日	地域住民誰でも 7名 500円	31,577	3,577	28,000	0	25,977	5,600
高齢者 大人の学校 毎週火曜日	地域住民誰でも 15名 月4回 1500円	300,378	16,878	283,500	75,684	202,350	22,344
地域 脳いきいき宮崎マーじゃんクラブ 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも 28名 1回300円	171,163	5,163	166,000	61,235	96,488	13,440
地域 まもり隊全体会 単発 1回 4/10	活動者 50名 なし	0	0	0	0	0	0
地域 第14回 宮崎まつり 単発1回 10/19	地域住民誰でも なし なし	233,377	100,297	133,080	36,705	193,872	2,800
地域 新春宮崎マーじゃん大会 単発 1回	地域住民誰でも 32名 500円	16,943	943	16000	0	16943	0
地域ボランティア育成 高齢者支援ボランティア講座 単発 全3回 4/1・8・15	地域住民誰でも 20名 100円	1,120	120	1,000	0	0	1,120

平成27年度 自主事業収支計画書

小学生クッキー作り 7月(夏休み) 1回	小学生	10,641	4,341	6,300	5,000	5,081	560
	障がい者						
障がい児・者 夏余暇支援事業 単発 1回 8/16	障がい児者	15,573	12,893	2,680	7,791	7,782	0
	16名						
ボランティア パティシェ・ガールズ 毎月第1土曜日	地域住民誰でも	0	0	0	0	0	0
	3名						
	なし						
		1,466,205	300,649	1,175,310	467,962	918,779	79,464

事業ごとに事業別計画書単表に内容を記載してください。

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①地域支援事業 『まもり隊』事務局	目的：平成16年度地域支え合い連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した。子どもの見守り、・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支え合い連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り。防犯活動はほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校毎月発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②子育て支援 『親子わくわく』	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てをしていく中での、お母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学、ほか。	毎月第1月曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③子育て支援 『ぼっ・ぼっ・ぼっwithみやぎキッズ』	目的：乳幼児親子同士とおはなし会ボランティアグループ・CP職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	毎月第3月曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④子育て支援 『天使のほっぺ』	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交流の場。子育ての相談・支援。	毎月第3金曜日 10：30～ 12：00 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑤子育て支援 『パパあのおね！！』	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月第3土曜日 10：30～ 12：00 12回開催

平成27年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥地域支援 『ワンコイン音 楽サロン』	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康作りを支援。地域住民・異世代交流の場。 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導。	毎月第1土曜日 13:30～ 15:30 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦地域支援事業 『おりがみクラ ブ』	目的：おりがみを通した脳トレ。介護予防。地域住民の交流。	第3火曜日 10:30～ 12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑧地域支援事業 『宮崎まつり』	目的：①地域住民とCPとの交流の場。②地区社協と共催する事で地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動されている地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など。	年1回 11:00～ 14:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑨脳いきいき宮 崎マーじゃん	目的：マーじゃんをツールとした介護予防。引きこもり防止。異世代交流、地域交流をメンバーで図る。 内容：宮崎地域CPのルールを作り、参加者でマーじゃんを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4土曜日 13:30～ 17:20

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑩boy'sキッチン ワーカー	目的：男性の初心者向け料理教室。料理をツールとした福祉保健活動。内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方レシピの味方など料理の基本から簡単な料理を行う。	毎月第3水曜日 10:00～ 13:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑪大人の学校	目的：学習療法を用い、た認知症・介護予防・改善を目指したサロン。 内容：学習療法・参加者同、サポーターとの交流。	毎週火曜日 13:30～ 15:30

平成27年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑫しあわせサロン	目的：家庭に閉じこもりがちな、高齢者に外出の機会をもち、仲間同士の見守り、CPとの関わり方も随時増えて行く場。 会食会。レクリエーション。	毎月第2水曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑬新春宮崎マージャン	目的：マージャンをツールとした介護予防。引きこもりの防止。 内容：マージャン大会。	年1回（1月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑭ボランティアパティシエ・ガールズ	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。内容：地域住民の集まる活動にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑮小学生おもしろ科学館	目的：小学生親子に地域CPを知って頂く。異学年、異小学校、異世代の交流。地域近郊の施設との連携。 内容：青少年センターの職員に協力をいただき科学実験ショーと科学の実験を行う。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑯ボランティア交流会	目的：当CPにてボランティア活動をしている方・団体との地域の団体との交流の場。活動を知り情報交換をすることで、地域のなかでの福祉保健活動をしやすい環境を作る。	年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑰高齢者支援ボランティア講座	目的：ボランティア育成。地域の認知症のサポーターを育成する。 内容：高齢者。認知症のことを学び支援の仕方を学ぶ。	年2回

平成27年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑱障がい児・者 夏余暇支援事業	<p>目的：異世代交流による住みよい地域作り。幼稚園児と高齢者の交流の場をすることでちいきに戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も知己の幼稚園を意識した生活をする事で声掛け見守りの活動を進んでしてくれます。</p> <p>内容：高齢者と幼稚園児の交流。レクリエーション。会食等。</p>	年1回

平成27年度 自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	高齢者支援 ボランティア講座	目的：①大人の学校のボランティアを育成する。 ②地域の認知症のサポーターを育成する。 内容：高齢者・認知症のことを学び、支援の仕方を学ぶ。 学習療法を学ぶ。	年2回
	ボランティア交流会	目的：当プラザにてボランティア活動をしている方・団体と地域の協力団体との交流の場。CPは日頃の活動中のご意見などを集約する場。様々な方・団体を知り、情報交換し連携することで地域の中での福祉保健活動をしやすい環境を作る。 内容：①情報提供 ②情報交換 ③職員とボランティアの交流	年1回
	まもり隊 全体会	目的：昨年度の活動の振り返りと今年度の活動の確認。 内容：各種関係機関との情報交換・交流。 活動の確認や課題解決に向けた話し合い。	10:00~12:00 年1回
	障がい児余暇支援 (自立支援協議会余暇支援分科会共催)	目的：障がい児者たちと地域住民の交流。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：パン作り。	時間未定 1回
	マーじゃん大会	目的：①マーじゃんをツールとした介護予防・引きこもり防止②参加してくださった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容：マーじゃん大会	年1回
	小学生のおもしろ 科学実験教室	目的：①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流③地域近郊の施設との連携 内容：神奈川県青少年センターの職員にご協力いただき、科学実験ショーと科学の不思議工作を作成します。	10:00~12:00 1回
	宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めて行く。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされている地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など。	10月17日(土) 11:00~ 16:00 年1回
	小学生クッキー作り 教室	目的：障がい者作業所のメンバーと小学生との交流。交流する事で障がい者のことを知ってもらう。 内容：①障がい者の啓発。②クッキー作り。	7月(夏休み) 10:00~ 12:00 1回

平成27年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
①介護者のつどい	介護者のご本人、介護に関心のある方	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	20人						
	なし						
②大人の学校	地域住民すべて	70,000	70,000	0	27,000	30,000	13,000
	20人						
	なし						
④包括とMSW・CM交流会	MSW・CM	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	なし						
⑤認知症サポーター養成講座	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	30人						
	なし						
⑥権利擁護講座 (単独単発)	地域住民すべて	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	30人						
	なし						
⑦権利擁護事業 (4包括社福)	地域住民すべて	0	0	0	0	0	0
	40人						
	なし						
⑧民生委員児童委員とケアマネ交流会	民生委員児童委員 ケアマネジャー	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	30人						
	なし						
⑨ケアマネサロン (4包括主マネ)	西区近隣のケアマネジャー	20,000	20,000	0	0	0	20,000
	20人						
	なし						
⑩宮崎まつり	地域住民すべて	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	なし						
⑪障がい児・者冬余暇	障がい児・者	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	なし						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成27年度 自主事業計画書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	目的：介護者の情報交換や憩い 内容：「あけぼの会（西区・介護者のつどい）」との交流会	年2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
②大人の学校	目的：介護予防 内容：簡単な計算や読み書きの問題、数字盤のほか、歌や体操を取り入れる。	通年 第1～4（火）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
③包括とMSW・CM交流会（4包括共催）	目的：包括と医療機関との連携 内容：医療機関のMSWや地域のCMに参加してもらい、医療機関の相談室の説明を聞いたり、グループワークで意見交換をする。	7月16日（木）
事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤認知症サポーター養成講座	目的：認知症サポーター養成 内容：高齢者支援ボランティア講座の「認知症の方や家族の方へのサポートを知る」の中で開催 包括主催で「認知症サポーター養成講座」を推薦したキャラバンメイト2名を講師として開催	年2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑥権利擁護事業（単独単発）	目的：権利擁護について普及啓発 内容：相続についての講座	下半期1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑦権利擁護事業（4包括社福）	目的：虐待予防について普及啓発 内容：地域の通所介護事業所向けの出張講座	年間4回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑧民生委員児童委員とケアマネジャー交流会	目的：近隣ケアマネと地域の民生委員との交流 内容：グループワークを含めた講演会	年1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑨ケアマジヤー学習交流会（4包括主マネ共催事業）	目的：西区近隣ケアマネの学習と交流 内容：近隣ケアマネ向けの講演会や事例検討会（名称：ケアマネサロン）	年7回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑩宮崎まつり	目的：福祉保健活動 内容：未定	10月17日
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
⑪障がい児・者冬余暇	目的：障がい児者の余暇活動 内容：お餅つき	平成28年1月（1回）